

第31回千葉海区漁業調整委員会 議事録

- 1 日 時 令和6年8月30日（金）午後1時30分から
- 2 場 所 自治会館9階第1・2会議室
- 3 出席者
- 委 員 石井 春人、鈴木 直一、清水 正夫、黒沼 吉弘、本田 直久、
滝口 宜彦、江野澤 均、佐久間 國治、平島 孝一郎、佐藤 光男、
松本 めい子、鈴木 正男、小栗山 喜一郎、坂本 雅信、
和田 一夫
- 専 門 委 員 北澤 直諒、齋藤 御津久、嶋津 圭一
- 水 産 課 宮嶋課長
大槻漁業調整班長
篠原漁船漁業班長
- 漁業資源課 原課長
三井資源管理班長、川合主査
- 水産事務所 銚子：迫所長
館山：山田所長、永山課長
勝浦：小森所長、末永課長
- 水産総合研究センター
尾崎資源研究室長
- 事 務 局 信太副技監、高山副主査

4 議事事項

- (1) 令和6年度全国海区漁業調整委員会連合会第59回東日本ブロック会議に
提出する議題等について
- (2) その他

5 審議経過

【信太副技監】

それでは、定刻となりましたので、ただいまから第31回千葉海区漁業調整委員会を
開会いたします。

初めに、石井会長から挨拶を申し上げます。

【石井会長】

皆様には、台風の影響による雨で足元の悪い中、第31回千葉海区漁業調整委員会に御出席いただき、誠にありがとうございます。

さて、浜の状況ですが、8月からのイセエビ漁は、各浜、昨年同期を大きく上回る水揚げになっていると聞いています。漁期を通じて、豊漁となることを期待しています。

次に7月以降の委員会に関係する動きですが、火光利用さば漁業とあじ・さば棒受網漁業の調整について、7月29日に千葉・東京連合海区、翌30日に一都三県連合海区が東京都内で開催され、委員会において、原案どおり可決・決定されました。会議に出席された関係委員の皆様、暑い中、お疲れ様でした。前回の本委員会において、御承認いただいた内容で、両連合海区においても可決・決定されたことから、知事に対して異議ない旨の答申をしたところです。

さて、本日御審議いただく案件は、第59回東日本ブロック会議に提出する議題等についてです。

重要案件でありますので、委員の皆様方の慎重審議をお願いして、御挨拶といたします。本日は、どうぞよろしくお願ひいたします。

【信太副技監】

ありがとうございました。

ここで委員の出席状況を御報告申し上げます。本日は委員全員の出席をいただいておりますので、会議は成立していることを御報告申し上げます。なお、田邊専門委員から出席できない旨、連絡がございました。

次に、議長でございますが、委員会会議規程第3条により、石井会長にお願いいたします。

【石井会長】

それでは、議事を進行します。

まず、本日の議事録署名人ですが、委員会会議規程第11条の規定により、私から指名とします。本田委員と佐久間委員にお願いいたします。

続いて、議題に入ります。第1号議案「令和6年度全国海区漁業調整委員会連合会

第59回東日本ブロック会議に提出する議題等について」を上程いたします。事務局から朗読と説明をお願いいたします。

【高山副主査】

(朗読)

説明概要：全国海区漁業調整委員会連合会が令和7年度に国に対して行う要望活動に向けて、千葉海区漁業調整委員会の国への要望事項を審議するもの。
要望事項4項目はいずれも継続要望で、「要望に至った経緯」及び「要望内容」を最新の資源評価等を反映し、一部修正する内容となっている旨を説明。

【石井会長】

朗読と説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。御意見、御質問がございましたらお願いいたします。何かございませんか。よろしいですか。

特に意見もないようですので、質疑を終了し、採決に移りたいと思います。

第1号議案「令和6年度全国海区漁業調整委員会連合会第59回東日本ブロック会議に提出する議題等について」の原案に賛成の委員は挙手をお願いいたします。

(挙手全員)

【石井会長】

挙手全員により、第1号議案は原案どおり可決・決定します。

【黒沼委員】

よろしいですか。

【石井会長】

はい。

【黒沼委員】

参考資料として入っていた国からの回答という資料の最後のページですが、下から3行目のところに「プレジャーボートと保険については」と書いてありますが、これは国からそういう答えが来たのでしょうか。確認させてください。

【石井会長】

事務局お願いします。

【信太副技監】

こちらは全漁調連の事務局のほうで作成した資料をそのまま今回の資料とさせていただきます。恐らく内容的には誤記と思われます。

【石井会長】

よろしいですか。

【黒沼委員】

結構です。

【石井会長】

それでは、次に議題（2）のその他ですが、皆様、何かありますか。ございませんか。特になければ議題を全て終了します。

次に、会議次第第5の「その他」ですが、皆様、何かありますか。ございませんか。特になければ、漁業資源課からお願いします。

【三井班長】

説明概要：太平洋クロマグロの令和7管理年度へ向けた動きについて、国はブロック会議により漁業関係者の意見聴取後、クロマグロ部会において配分の考え方を検討する。12月のWC P F C年次会合において保存管理措置の決定後に配分が決定される予定である旨を説明。

【石井会長】

ただいまの報告について、御質問等ございましたらお願いいたします。何かございませんか。

【黒沼委員】

よろしいですか。

【石井会長】

黒沼委員、どうぞ。

【黒沼委員】

ありがとうございます。今の御説明の中で遊漁の方から枠を求めているということですが、組合ではなくて団体からだと思いますが、たしか遊漁については、今月は採捕禁止になっていた気がするんですけども、量が多くなり過ぎてしまって、その辺の実効性というのはきちんとできているのでしょうか。

よろしく申し上げます。

【石井会長】

資源課、お願いします。

【三井班長】

遊漁船の小型クロマグロの採捕につきましては、周年禁止というところで、今守っていただいております、大型魚につきましては期間ごとに採捕枠が設定されておりますが、二、三日で枠まで採捕し、その後委員会指示で採捕禁止となります。

採捕禁止後は、厳しく管理するというところで、国では取締に力を入れていくとアナウンスされております。

【石井会長】

黒沼委員、続けてどうぞ。

【黒沼委員】

ありがとうございます。その中で、団体のほうで枠が欲しいという意見を出しているのと理解してよろしいのでしょうか。

【石井会長】

資源課、どうぞ。

【三井班長】

今現在は40トンの枠で管理していますが、3日、4日ですぐに取りれなくなってしまうという現状を踏まえまして、その10倍の400トンという数字を示して、枠が欲しいと意見を出しておりました。

【黒沼委員】

分かりました。どうもありがとうございます。

【石井会長】

そのほかに何か御質問等ございましたらお願いします。よろしいですか。

特になければ、会議次第5の「その他」を終了し、会議次第6の「事務局連絡事項」に移ります。

それでは、事務局からお願いいたします。

【高山副主査】

(事務連絡)

【石井会長】

それでは、これもちまして、第31回千葉海区漁業調整委員会を閉会します。皆様、お疲れさまでした。

午後1時47分 閉会